

「悠久のふるさとづくり支援金」を募集	2ページ
高齢受給者証の更新について	3
4月から県の現地機関が変わります	4
飯山市観光協会が「地旅大賞」	5
在宅福祉サービス利用申請手続きを	6
市福祉医療費〔小学生分〕受給者証更新のお知らせ	6

「遊雪 楽雪 注意報発令！」 「いいやま雪まつり」開催

2月14日・15日の2日間、城北グラウンドを主会場に第27回いいやま雪まつりが行われました。大型雪像が立ち並び主会場では雪像コンテストやワ

ンメイクジャンプ大会、雪中御輿など多くのイベントを開催。また周辺の商店街や飯山駅等にも大型雪像や休憩コーナー等が設けられ、市内外から訪れた多くのお客様が今年のテーマ「遊雪 楽雪 注意報発令」のとおり暖かな雪国のイベントを楽しみました。



雪像コンテスト最優秀作品



「SAVE THE EARTH!」
飯山北高校



「春よ 来い」
飯山商工会議所 愛宕町支部

大型雪像の部 最優秀賞

商店街の部 最優秀賞



⑤「キッズステージ」
保育園児の皆さんが元気にダンスなどを披露。

⑥記録的な暖冬となった今年も、力作ぞろいの雪像が登場。

「定額給付金」についてのお知らせ

事業の概要

定額給付金の支給は、住民の生活支援と地域の経済対策を目的とする事業で、財源はすべて国が負担し支給事務は市が行います。支給額は、すべての国民について1万2000円（18歳以下と65才以上の方には2万円）を支給し、平成21年2月1日現在で住民登録および外国人登録をしている方が対象です。

申請および支給方法
申請書の送付および受付開始は4月上旬を予定しており、手続きを早めに済ませた方については、4月下旬頃の支給となる見込みです。なお、支給方法は原則として口座振込を予定しています。申請方法は、各世帯主

の方に申請書を送付し、申請書に必要事項を記入のうえ、添付書類と一緒に市役所へ郵送または提出していただく予定です。また、「申請方法がわからない方」や「手続きが困難な方」などにも手続きいただけるよう、各集落の集会所で受付を行う予定です。詳しくは申請書送付通知をご覧ください。市報4月号に掲載する詳しい申請方法ををご覧ください。

振り込め詐欺等にご注意を
定額給付金の給付を装った郵便・電話等による振り込め詐欺や個人情報の聞き出し等に十分ご注意ください。

お問い合わせ
企画財政課企画調整係
☎3111 内線302

集落・公共的団体が行う地域の活力を生み出す活動を支援

「悠久のふるさとづくり支援金」を募集
先人が築いてきた悠久のふるさと飯山。この財産を次の世代に引き継ぐことは、今を生きる世代の大きな役割です。市では、地域住民がともに喜び合い、豊かさを実感し、活力あふれる「ふるさとづくり」のため自ら考え行う事業に対し、「悠久のふるさとづくり支援金」を交付し、ふるさとを次世代

募集は4月から行います
平成20年度は多くの応募があり、16の団体が支援金を受け活動をされました。今年度分は4月から募集を行います。詳しくは区長さんを通じてお知らせするともに、市報4月号および市ホームページでお知らせします。

市立保育園の臨時職員(保育士)を募集

職種 保育士(臨時職員)
募集人数 若干名(5名程度)
受験資格 児童福祉法の規定に基づく保育士の資格を有する方、または平成21年3月末までに資格取得見込みの方で、60歳未満の方

試験内容 書類審査および面接
試験日時 随時(申込者に連絡します)
採用期間 平成21年4月1日から



お問い合わせ
企画財政課 企画調整係
☎3111 内線301

納税通知書等の口座番号表示が変わります

市では個人情報保護を図るため、市から発送する納税通知書・振込通知書等に印刷される口座番号の表示を、下記の例のように下3桁を非表示とします。ご理解ご協力をお願いします。

(表示例) 口座番号 1234567 → 1234***

お問い合わせ
企画財政課 情報管理係 ☎62-3111 内線394

市長の

悠久のふるさとづくり



今年も「いいやま雪まつり」が無事に開催されました。雪を活用し市民の交流や、飯山の活性化を図ろうと商工会議所青年部の皆さんが中心となり第一回が開催されてから27年。市民の手作りで作り上げられてきた雪まつりは、経済効果はもとより、大勢の人が元気を分かち合うことができる飯山の一大イベントとなりました。

今年地球温暖化の影響なのか、市内は雪不足傾向にあり、開催日が近づくにつれ少なくなる積雪に開催も心配されました。それでも私は「赤ジャンパー」を着た商工会議所青年部の皆さんの気持ちと、これまでの苦労を見聞きしていただけに、「降りる雪」を期待していましたが、無常にも開催前日の夜には雨降り、更に当日は春一番が吹く暖かな陽気となりました。しかし、前日の夜、また当日早朝から、会場では雪像の補修をしたり、シートをかけるなどして必死に来場者にきれいな雪像を見せようというために頑張っている市民の方々の姿がありました。そんな姿を目の当たりにし、自然に涙がこみ上げてくるような思いでした。特に、授業が終わってから一生懸命に雪像を作る小学生・中学生・高校生を見て、飯山のこれからを担うであろうこの子供たちの姿が本当に頼もしく、嬉しく感じました。

そんな多くの市民の皆さんの努力のおかげで、好天に恵まれた雪まつり会場には多くの来場者があり、2日目には「雪中御輿」も行われ、約百人の担ぎ手が市内外から集まり、大いにイベントを盛り上げていただきました。また同じ週末に信濃平で行われた「かまくら祭」も大変賑わっており、赤い鳥居の奥に設置された「かまくら神社」に若者二人が参拝する、そんな姿が目にした冬の出来事でした。